

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

宮城県

●地域における現状・課題

県内の教員に関する働き方改革は、重要な課題であり、部活動は大きな要因である。県立中学校は広域から生徒が通っており、地域との連携、協働は市町村立中学校と比べると希薄である。そのため、地域部活動を実践するために必要なノウハウを持つリーフラス株式会社と連携し、近隣の企業や大学等から人材を確保することで、持続的な休日の地域部活動へ移行したいと考えている。県教委が所管する県立中学校を拠点校とし、本事業に取り組むことで、県内各地域の休日の地域部活動移行に拍車をかけていきたい。

●取組事項の概要

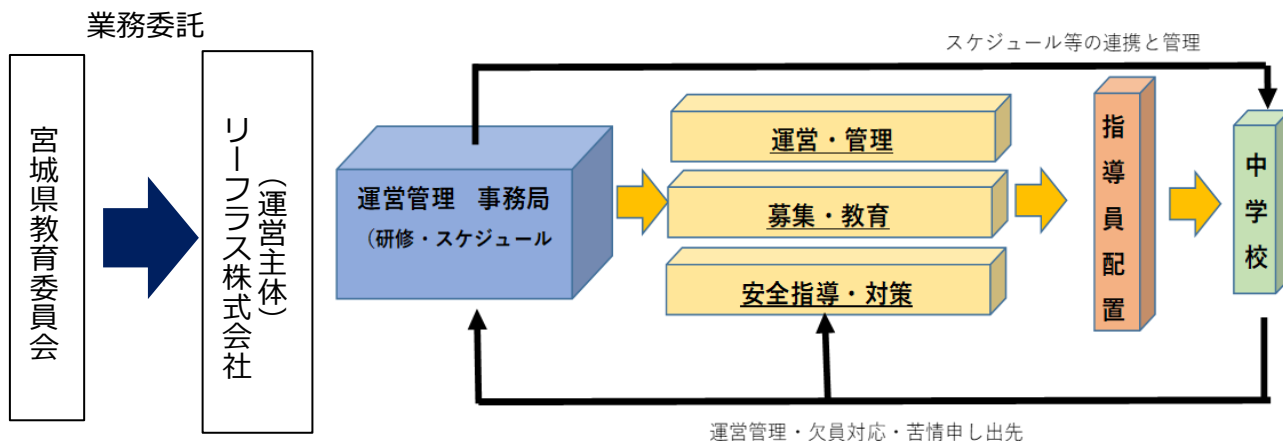
運営主体となる民間スポーツ事業者（リーフラス株式会社）へ事業の運営管理を委託

リーフラス株式会社にて、指導者募集と採用及び研修、活動時の安全管理、学校及び指導者とのスケジュール調整、保護者からの連絡窓口等、運営管理業務を行い、安心安全な円滑な実証事業の展開を図る。事業終了に伴い、生徒・保護者・顧問教諭向けのアンケートを実施し、内容の検証と課題抽出につなげる。

●取組の成果、特に工夫した点等

生徒・保護者によるアンケート結果では、指導者に対する満足度は90%前後の値を示しており、休日の専門的な指導を通して「部活動に対する意欲向上」「個人・チームとしてのレベルアップ」につながる内容を構築できた。一方、平日と休日で切り離された活動を展開する中で、顧問教諭との連携や引継ぎに課題が残る結果となった。今後は連絡ツール等の活用を含め、意思疎通や状況の共有を図れる体制作りが求められる。また、顧問教諭の負担軽減という点においては、関わった顧問教諭5名中4名が「業務負担の軽減」を感じており、実証事業を通じた働き方改革の一助を担うことにつなげることができた。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：民間スポーツ事業者運営型
- (2) 運営主体：リーフラス株式会社
- (3) 種目：野球、サッカー、バスケットボール、バドミントン、陸上
- (4) 指導者の主な属性：会社員、大学生
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：月4回（土日祝）
- (6) 主な活動場所：宮城県古川黎明中学校
- (7) 主な移動手段：徒歩、自転車、保護者送迎
- (6) 1人あたりの参加会費等（年額）：2,000円/年
- (7) 1人あたりの保険料：生徒6,021円

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

宮城県白石市

●地域における現状・課題

- ・少子化に伴い、単一の学校では特定の競技種目の部を設けることが難しい状況が生じ、設置している部活動の精選が各学校の課題の一つとしてあげられている。
- ・競技、指導経験がない教員が運動部顧問をしている場合があり、心身ともに負担が大きい。
- ・働き方改革の進展により、休日の部活動指導や大会引率を教員に担わせる体制の改善は求められており、持続可能性を検証していく必要に迫られている。

●取組事項の概要

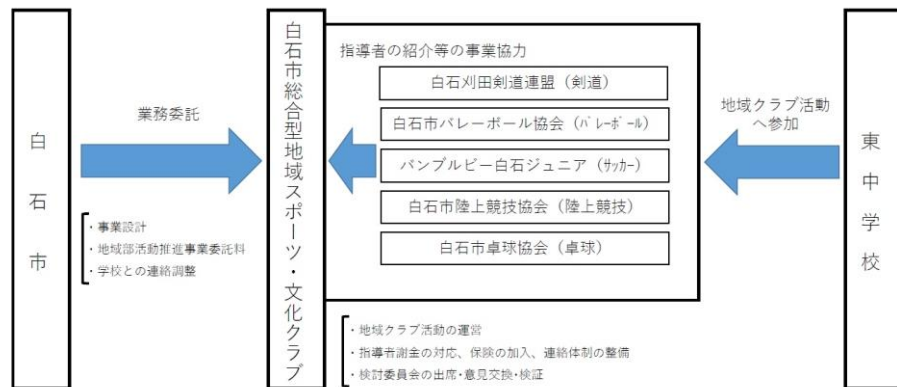
- ・拠点校や市内中学校に加え、地元の高校と連携し、合同練習会等の開催・公共交通機関やスクールバス等による送迎サービスの検討
- ・拠点校以外の学校へ、説明、参加促進
- ・適正な受益者負担のあり方・納付システムの確立、保護者負担経費の調査

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・他市町の中学校や市内の高校と合同練習を実施。指導者のつながりを存分に発揮し、他の地域とのつながりや、世代間交流・連携など構築することができた。
- ・拠点校以外の参加促進のため、市内の中学校に対し次年度の運動部活動の地域移行についてアンケートを実施。学校ごとに開始希望時期を対応していく。
- ・県内の状況を調査し、実施している他校の実証事業について状況を確認。受益者負担額をいつからどのぐらい徴収するのがいいのか見極めている。

●運営体制図

（運営体制図）



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- （1）運営類型：地域スポーツ団体等運営型（総合型地域スポーツクラブ型）
- （2）運営主体：白石市総合型地域スポーツ・文化クラブ
- （3）種目：剣道、バレーボール、サッカー、陸上、卓球
- （4）指導者の主な属性：協会所属（元教員）
- （5）1か月あたりの平均的な活動回数：3回
- （6）主な活動場所：東中学校
- （7）主な移動手段：自転車、保護者による送迎
- （6）1人あたりの参加会費等（年額）：0円/年
- （7）1人あたりの保険料：生徒800円／指導者1,850円

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

宮城県角田市

●地域における現状・課題

- ・角田市における中学生の生徒数は、令和5年度以降減少する見込み
- ・部員数の減少に伴い活動維持が難しい部が増えていく
- ・教員への負担が大きい（競技経験がない部活動を担当するケースが多い）

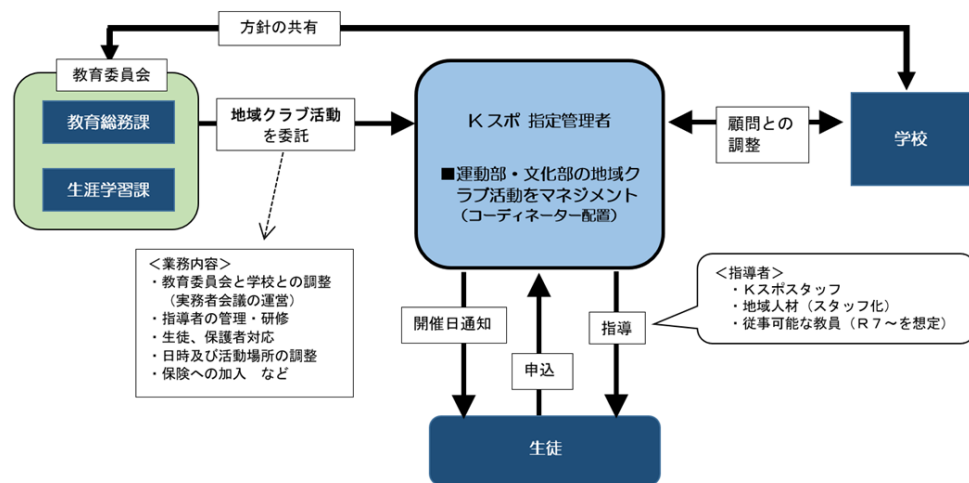
●取組事項の概要

- ・地域クラブ活動の運営団体（再々委託先）にコーディネーターを配置し、学校（市内2中学校）、教育委員会（教育総務課、生涯学習課）、地域スポーツ団体との打ち合わせを開催する等して連絡調整を行った。
- ・保護者説明会、部活動だよりの発行等を行い、生徒・保護者へ理解促進を図った。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・当初からの懸案である、指導者（専門コーチ）の確保について、指定管理事業者の社員（スポーツ指導者資格を有する）を派遣するため、当該事業者との委託契約により実証事業を展開できている。
- ・移行種目の検討に当たっては、指導者とのマッチングに関し、既存の「部活動指導員（会計年度任用職員）」が担当している部活動を中心に、生徒・保護者への負担感を減らすため、臨時社員として派遣元事業者へ登録してもらうなど、移行への手続きについて工夫した。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- （1）運営類型：市区町村運営型（地域団体・人材活用型）
- （2）運営主体：角田市
- （3）種目：サッカー、水泳、男子バスケ、バドミントン(男女)、ソフトテニス(男女)
- （4）指導者の主な属性：指定管理者社員（臨時を含む）
- （5）1か月あたりの平均的な活動回数：各種目 月4回程度(土日のいずれか)
- （6）主な活動場所：平日の部活動と同じ場所（学校施設等）
- （7）主な移動手段：各自
- （6）1人あたりの参加会費等（年額）：実証事業期間（R5～R7）については免除（保険料等については、市が負担）
- （7）1人あたりの保険料：生徒800円／指導者1,850円（スポーツ安全保険）